

「海岸保安林の森林整備活動」に参加しました

国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林整備センター 新潟水源林整備事務所

新潟水源林整備事務所は、平成30年9月22日（土）に「新潟西海岸地区保安林（新潟市西区上新栄町地区）」で開催された、「海岸保安林の森林整備活動※1（主催：公益社団法人にいがた「緑」の百年物語推進委員会）※2」に参加しました。

※1 以下、「海岸保安林整備活動」といいます。 ※2 以下、「緑百年」といいます。

この活動は年2回、6月と9月に新潟西海岸地区保安林（飛砂防備保安林及び保健保安林）で行われ、今年6月の開催では、プロバスケットボールチーム新潟アルビレックスBの選手とサポーターの皆さんの参加を得て、総勢100名を越える大人数となりましたが、今回の開催では、6団体15名の参加となり、少数精鋭で頑張ることとなりました。

今夏の新潟県は、空梅雨で高温乾燥、熱中症注意の日々が続いた一方、8月後半からは長雨が続く天候となりました。

この活動直前の天気予報は「雨のち曇り」。時折小雨が降るなかで、天候状況を見ながらの活動となりました。

参加者全員が集合した後、「緑百年」事務局の小林常務理事の開会挨拶があり、その後は思い思いの場所に散らばって作業を開始しました。刈払機持参の「慣れた参加者」の皆さんには、広い箇所をお任せし、私たち新潟事務所の手鎌部隊は、込み入った場所や、石などの障害物が草に隠れているところを選んで作業しました。

作業開始後、しばらくして雨がやみ薄日も射してきました。合羽着用で体を動かしているため、暑さで蒸す中での刈払い作業となりました。

このような中、刈払機部隊のフル稼働により瞬く間に全体を刈り終えることができ「午前9時開始、11時30分を目処に終了」の作業予定は、10時過ぎに完了となり、林業機械の高性能とありがたみを実感させられました。

最後は、集合写真を撮影して解散となりました。

今年も年2回の海岸保安林整備活動を終えることができました。私たち新潟水源林整備事務所は、これからもこのような活動へ積極的に参加し、地域の一員として貢献していきたいと思っております。



開会挨拶



合羽を着用しての作業



全員集合写真（「緑百年」提供）